

Jazz Interview vol.82

★人間味溢れる注目のジャズピアニスト&コンポーザー★ リナ【RINA】



© 能美潤一郎

♪ 2023年5月に発表された最新アルバム『Transparent Blue』を聴かせて頂きました。RINAさんの全曲オリジナルによるソロアルバムで、RINAさんの個性や魅力が詰まった素敵な作品ですが、このアルバムはご自身のキャリアにおいて、どのような作品になりましたか？

元々ソロピアニってすごく苦手なイメージがありました。1枚目のアルバムはトリオだったので、2枚目はソロで作らしようとなった時に、やってみようかなと思ったんです。トリオではできないソロピアノらしい曲、それこそクラシックとかも聴き始めて、曲を書いたんですけど、音楽の幅が広がりましたね。レコーディングを終えて、コンサートをするようになってから、ソロがすごくいいなと思うようになりました。自分の中でもトリオとソロピアノの2つができるようになったので、良い感じでバランスが取れるようにもなりましたね。トリオの時と意識も全く違いますし、ソロの方が自由度が高いかもしれないですね。ベースとドラムも1つの楽器で表現するピアノのオーケストラのような感じで、すごく楽しくなりました。

♪ タイトル曲の「Transparent Blue」は、コロナ禍にハワイのワイキキビーチを訪れた際に感情が一気にオープンになって、音楽で皆の気持ちが変わって欲し

埼玉県出身。国立音楽大学で小曽根真に師事し、卒業後はバークリー音楽大学に留学。2018年「エリス・マルサリス国際ジャズ・ピアノ・コンペティション」で第2位および最優秀作曲賞を獲得。帰国後、2020年にオリジナルアルバム『RINA』でデビュー。2023年に2ndアルバム『Transparent Blue』を発表。現在、TBSテレビの情報番組『The Time.』にも出演し、メディアでも注目を集めている。

インタビュー前は、ほんわかとした癒しのイメージを抱いていたが、常に自分を律し、ストイックな一面を持っていることを知った。また、そのストイックさが見えないところも素敵で、そのギャップも魅力。ピアニストとしての素晴らしさだけでなく、ひとつひとつの言葉も大切する人間味溢れる素敵な方でした。RINAというアーティストの人柄や人間性も伝わる貴重なインタビューとなりました。

【2025年8月21日 都内某所 取材・文：鯉登正之】

いという思いを込めて書いたそうですが、普段作曲はいつどのようにしているのですか？

今曲を書かなきゃいけないというように、ピアノに向かって書くということは全くなくて、普段生活していて、誰か人と会ってこういう気持ちになったとか、みんな悲しんだり、楽しんだりという気持ちを覚えておいて、ふとした瞬間に書くという感じです。作曲はパソコンに打ち込んだり、ピアノでしない時もありますけど、トリオの曲はピアノで描くことが多いですね。

♪ 曲が浮かぶ瞬間というのはどういった場面が一番多いですか？

自分の心が暗くなった時!? (笑)、落ち込んでる時がすごく書きやすいですね。楽しくて明るい気持ちになっている時よりも、何かちょっとモヤモヤしている時の方が冷静になって、結構曲が書けるんです。

♪ 7月18日に出演された『オスカー・ピーターソン生誕100周年記念カナダ公演』はいかがでしたか？

カナダのバンフで開催されたコンサートに呼んでいただいて、出演者はピアニスト3名、ベース、ドラムギター、ボーカルの7名でした。オスカー・ピーター

ソンの楽曲で構成され、私はピアノトリオ、そしてボーカルを加えたカルテットでも演奏を披露しました。事前に譜面を送って、こういうアレンジにしたいですって伝えておく形で、リハーサルは当日でしたね。私は「Noreen's Nocturne」と「When Summer Comes」というピーターソンの2曲をトリオで演奏しました。ピーターソンのピアノトリオの楽器の配置って独特じゃないですか？ あの形を体験できたのは新鮮でしたね。会場もかなり広がったですし、お客さんの反応が本当に素晴らしくて、演奏が始まる前から拍手や声援があがるなど、とてもオープンで温かい雰囲気になっていました。ミュージシャンの方は、みなさんとお会いするの初めてだったんですけど、食事と一緒に話もできました。結構日本に来ている方や日本が好きの方が多くて、日本語が話せる方もいたので、演奏以外にも交流を深めることができましたね。



♪ 2023年4月に就任された「小江戸川越観光親善大使」として、どのような活動をされているのですか？

♪ 9月23日（祝・火）ビルボードライブ横浜で行われる『RINA Trio at Billboard Live YOKOHAMA 2025 Special Guest : Eric Miyashiro』について、抱負を聞かせ下さい。

川越って結構イベントが多いんです。夏から冬にかけてはかなりイベントが多いので、そういう場面でピアノを弾いたりしています。

♪ 音楽との出会いについて聞かせて下さい。

今回、井上陽介さんがベースで木村紘さんがドラムで、もともといつかこの3人で演奏したいとずっと思っていたので、それが叶うことが嬉しいのと、ビルボードライブ横浜のステージに立つのは初めてのなので、そこに立てるんだって思うだけですごくワクワクします。あと、エリック・ミヤシロさんがスペシャルゲストとして出演してくださるので、これはもう豪華なステージになることが見えています！ 新曲も披露します！

姉がヤマハ音楽教室に通っていて、そこに一緒について行った時に、私も始めたいと言って始めたんです。最初はエレクトーンを弾いていました。ヤマハ音楽教室では、毎年コンクールに出ているので、吹奏楽の曲を演奏したりとか、1年に1曲だけ決めて、そのために練習するということが多かったですね。

♪ ジャズとの出会いについて聞かせて下さい。

♪ TBS テレビ『THE TIME,』の月曜に出演中ですが、毎回衣装も素敵で、ピアノの演奏と共に反響もかなり大きいと思います。毎週出演されていかがですか？

小学校の5、6年生になった頃に、1人だけチック・コリアの『The Mad Hatter』というアルバムの曲を弾かれた方がいて、それを聴いて「何だ、この音楽は」とちょっと興味を持ったんです。でも、それでJAZZを始めたわけではなく、こういう音楽もカッコいいなって思いました。本格的にジャズを弾き始めたのは、大学1年生の時です。その前もJAZZを聴いてはいたんですけど、本格的にピアノでJAZZを演奏したのは大学生になってからですね。高校3年生の時に国立音楽大学の夏期講習で小曽根真さんの演奏を聴いて、小曽根さんと初めてお会いして、ピアノ2台で演奏した時に、ブルースとかリズムチェンジとか構成も何もわからなかったんですけど、エレクトーンでピアノを弾いたらすごく楽しかったです。小曽根さんも楽しくしてくれるので、JAZZピアノって楽しんだと思って、国立音楽大学に入ることに決めました。

毎週J-POPを演奏するんですけど、私はJAZZしか聴いていなくて、J-POPを全然聴いて来なかったのので、全く曲を知らなかったんです。去年の11月から毎週出演させていただくようになって、この番組がきっかけでJ-POPを聴くようになりました。作曲の仕方にもちょっとだけ影響が出て来ているのかなと思います。毎週メディアに出られることなんてないので、本当にありがたいことですよね。

♪ J-POPを全然聴いて来なかったとのことですが、音楽番組とかも見るのがなかったですか？

はい、全然観なかったですね。なので、昨年末に「NHK紅白歌合戦」を観て、ほとんどのアーティストさんを知っていたので、こうやって紅白歌合戦って観ているんだ!?とあって、自分が嬉しかったです（笑）。

♪ 歌は歌われますか？

歌わないです（笑）。カラオケにも全然行かないんですけど、『THE TIME,』に出演させていただいてから、1回だけ、1時間だけカラオケに行きましたよ！『THE TIME,』で弾いた曲のサビだけ歌いました（笑）。でも、歌は苦手なのでやらないです（笑）。

♪ 影響を受けたピアニストはいますか？

一番はやっぱり小曽根真さんですよ。小曽根さんに出会ってJAZZを始めたので、ピアニストと言ったら、最初は小曽根真さんしかわからなかったですね。その後は、オスカー・ピーターソンをずっと聴いて練習していました。

♪ ジャンルに関わらず、影響を受けたアルバム3枚を挙げて下さい。

この質問が一番難しいです…。音楽はいろいろ聴くんですけど、アルバムのタイトルやこのアルバムを一番聴きましたというのがないんです。私、自分でピアニストなのかな？と思う時がたまにあるんです（笑）。普通みなさん言えるじゃないですか、このアルバムがすごく好きで、このアルバムをよく聴きましたとか。私もそういう風には言ってみたくてたまに思います。良いアルバムがありすぎて、3つに選びきれないです。すみません、ちゃんと答えられなくて。

♪ デビューアルバム『RINA』では、中村恭士さんがベースを弾かれましたが、ジャズ史の中で好きなベーシストは誰ですか？

クリスチャン・マクブライドが好きですね。もう本当にスイングがカッコいいな～って思いますし、とにかくカッコいいです。あとは、アヴィシヤイ・コーエンですね。曲がカッコいいですね。ベースをメロディにした曲、もちろんベーシストなのでそうなると思うんですけど、あの世界観はカッコいいです。本当に大好きですね。

♪ 3rdアルバムリリースの予定はありますか？

決まっているんですが、現時点ではまだお伝え出来ないんです…。ちょうど昨日レコーディングを終えて、今日このあとジャケット写真の撮影があるんです。12月にリリース予定で、9月中旬ぐらいにアルバムの情報を公開予定なのですが、次のアルバムはすごいです！ということだけはお伝えできます。9月に情報が公開された後は、何でもお話ししますので（笑）！



♪ ピアニストとして、一番大切にしていることは何ですか？

日々の生活ですかね？（笑）ピアノの練習とか、ピアノの技術がどうってということよりも、日々の生活の中で当たり前であること、小さなことにちゃんと幸せを感じていきたいとか、誰かと会った時にちゃんと挨拶できる人でありたいとか、感謝できる人でありたいとか、自分というものを適当にならないように気を付けたらいいと思っています。でも、それってたぶん音楽にすごい反映されて、ちょっとでも適当に生きていくと、どこかで音楽も適当になっていってしまうと思うんです。自分の意思がはっきりしていないと、音楽が絶対にはっきり出ないので、音に出てくるので、そこはとにかく注意しています。音楽がなくなったとしても、こういう人間です、ピアニストですっていうよりも、私はこういう人間ですっていうところもしっかりしていきたい、それありきの音楽だと思っています。

♪ 海外で音楽活動を行う予定や希望はありますか？

海外に移住したいという気持ちは、今はないですが、この前カナダに行ったり、その前はアメリカのフェスに出演したこともあったので、定期的に海外公演は作っていきたいという思いはすごくあります。アメリカもいいですけど、ヨーロッパにも行きたいですね。

♪ ジャンルに関わらず共演したい人はいますか？

オーケストラと共演してみたいです。誰とやりたいとかではないんですけど、オーケストラのピアノを弾きたいというのが夢です。自分でオーケストラの曲を書いて、ジャズのトリオを入れたりというのは、いずれは絶対にやってみたいです。あと、映画音楽も書きたいですね。

♪ 映画音楽については、エンニオ・モリコーネなども有名ですよね？

エンニオ・モリコーネもいいですね。私は久石譲さんとかもすごく好きですね。あと、ジブリの世界観とかはすごく好きです。

♪ 音楽以外に特別な趣味はありますか？

運動は好きです。私は元々陸上部で、100メートルとか、200メートルとか短距離をやっていたので、走ることがすごい好きなんです。筋トレもすごく好きです。ジムに行く機会もちょっとずつ減って来ちゃっているんですけど、運動すると元気になりますね。

♪ 本や漫画を読んだり、映画を観たりはされますか？

漫画は読まないです。映画とかNetflixとかもあまり観ないですね～。本当は観なきゃいけないと思ってるんですけどね。でも、食事には気をつけていて、料理はします！ あまり油物は食べないですが、料理はいろいろ作りますね。

♪ 埼玉県の川越のご出身で、菓子屋横丁が大好きで、駄菓子も大好きだそうですが、特に好きな駄菓子は何ですか？

「蒲焼さん（太郎）」です。たくさん食べちゃうので、ストックはしてないです（笑）。

♪ ラジオパーソナリティや女優もやってみたいですか？

ラジオはやってみたいんですけど、しゃべりが下手なので楽しくないと思います（笑）。でも、誰か一緒に話してくれる方がいて、そこで質問に答えていってかかっていうのはやってみたいですね。音楽以外の部分をラジオで知ってもらえるだろうとか、人間性を知る場面って必要だろうと思うので、そういうのも一緒にできる人がいるといいなって思いますね。女優さんは、もしピアニストの役とかでしたら、ぜひやってみたいです！

♪ RINAさんの夢について聞かせて下さい。

オーケストラはいつか必ずやりたいですし、映画音楽を書きたいとか、海外で演奏していきたいとか、幅を広げたり、やりたいことはあります。それ以外にも、今の活動、コンサートホールで演奏するとか、アルバムを出していくとか、お客さんに音楽を届けるということが続けられるように常に、自分自身と向き合っていけたら良いと思います。そして、自分が幸せで音楽を作ることにずっと喜びを感じられて、その喜びをお客さんに届けて、お客さんも幸せになって欲しいということが、ずっと続くといいなと思っています。ひとつひとつ丁寧にやっていきたいなと思っていますね。

♪ 最後に、The Walker's 読者とファンにメッセージをお願いします。

このインタビュー読んでくださってありがとうございます！ 9月以降にタイミングをみてお話できると思いますが、次のアルバムはすごいです！ ぜひ楽しみにしてして下さい！

【RINA オフィシャルウェブサイト】

<https://rinamusic.com/>



『Transparent Blue』 RINA

2023年5月17日発売
Wisteria Records : WIST-0001
¥3,300 (税込)

初の全曲オリジナルによる「ピアノ・ソロアルバム」

【RINA ライブ情報】

RINA Trio at Billboard Live YOKOHAMA 2025
Special Guest : エリック・ミヤシロ
2025年9月23日 (祝・火)

